



ン…ふう…危なかった…  
あんなザコ妖魔相手に、もう少しで  
変身もできずにやられるところだったわ…  
妖魔が に擬態して其のコを運うなんて、  
早くはるかともちるにも報せないど…

それにしても、このセーラースーツ、  
水着って言うよりエッチなコスプレみたいで  
いつものスーツより却って目立っちゃうかしら…？

触手のアナル責めにより肉奴隷寸前のピンチに  
追込まれながら、せつなは無意識の内に  
パストの谷間に潜ませていた変身ロッドを取り出し、  
セーラーブルートへと変身を遂げる。

マーキュリーが水辺での戦闘に備えて開発した  
ピキミ型セーラースーツを身に着けたブルートは、  
変身後も執拗に肛門を犯し続けていた触手を  
必殺技「デッドスクリーム」で本体の妖魔ごと消滅させて  
ようやく一息つき、波打ち際からビーチに戻る。

標準型スーツのバスト周りを切り取ったような  
ピキミトップは普通の水着よりも露出度が低いが、  
ボトムは局部だけをカバーするTバックショーツの後ろに  
リボンを着けたデザインで、リボンがあることで  
剥き出しのヒップが強調され、単なるTバックよりも  
却ってエロティックに見えた。

ビーチに立つセクシーなコスプレ美女に、  
再び周囲の男性の視線が集中する。



……！！  
そんな…まだ妖魔が！？  
しかも、すごい数…

1匹だけならともかく、いくらザコ妖魔でも  
今の状態でこれを全部倒すなんて無理ッ…

はるか達に妖魔の襲撃を知らせようとした  
ブルートの行方を阻むように、  
砂の中から無数の触手が伸びる。

それはたった今倒した妖魔と同類の  
下級妖魔だったが、激しい陵辱を受けながらの  
無理な変身でエネルギーを消耗したブルートが、  
これだけの数を相手に勝利する可能性は  
殆どゼロに等しかった。



ンふッ…

おかげで助かりましたけど、  
もう少し早く来てほしかったです…

大勢の人に見られながら妖魔に犯されて  
お漏らしまでしてしまうなんて…

ウラヌスとネプチューンによって過酷な触手責めから解放されたブルートは廃人同然の状態だったが、2人のエナジーを使ったヒーリングにより、短時間で会話が可能な状態にまで快復した。

無惨に膨れ上がっていた腹部も元通りの引き締まった見事なプロポーションを取り戻したが、その肌は自分自身と妖魔の様々な体液にまみれ、粘液が染み込んだスーツの薄い生地が肌を透けさせてしまっている。

極細Tバックのおかげで脱糞の痕跡はスーツにはほとんど残っていないが、パンティの股間には尿が黄色く染みつき、先刻の彼女の痴態を物語っていた。

くっ…なんて格好…  
さっきのアナル責めもそうだけど、  
この妖魔達の目的は私の身体みたいね…

でも…  
悔しいけど、ここで戦っても殺されるだけ…  
周りの人達に被害を出さない為にも  
今は妖魔の肉奴隷になっても生き延びて、  
はるかどみちるが助けに来るまで  
時間を稼ぐしかないわ…

戦士としての冷静な判断を下したブルートは  
無謀な戦いを避け、敢えて妖魔の群の前に  
ビキニスーツを着けた半裸の肉体を晒した。

無数の触手がたちまちその四肢を絡め取り、  
両腕を後ろ手に締め上げて反撃を封じると共に、  
左右の脚をピンと伸ばして股関節を限界まで  
広げさせる。

その結果、腰を大きく反らし股間を全開にしたまま  
空中に吊されたブルートは、スーツの薄膜に包まれた  
両乳房とTバックパンティからはみ出た肛門を  
見せつけるようなポーズで固定されてしまった。

周囲の人々は、ビーチに突如出現した  
異形の物体と、その触手に絡め取られて  
奇妙なオブジェのようなポーズを取る  
褐色肌のコスプレ美女に驚きながらも、  
あまりに非現実的なシチュエーションに  
映画の撮影か何かと思ったのか、  
周りを囲んで見物し始めた。





え…？

ちよつと…ツコツ…きやあッ！？

仲間の来援まで時間を稼ぐために自らの身体を妖魔に与える事を決意したブルードは、普段の彼女からは考えられない無様な姿態を強要されて身体のもも恥ずかしい部位を見知らぬ海水浴客達の目に晒しながら、なお凛とした戦士の表情を保っていた。

しかし、体の触手がピキニスーツのパンティに向けて伸ばされ、その先端がTバックの細ヒモに絡みついた時、それまで冷静だったブルードが急に狼狽する。

慌てて妖魔に対し制止の声を上げるが通用するはずもなく、触手はあっさりと伸縮性の高いTバックのヒモを引っ張ってブルードの肛門を完全に露出させてしまった。

ピキニスーツのTバックは、もとより肛門を隠す役割をほとんど果たしておらず、これを身に着けたセーラー戦士は常に排泄孔をほとんど剥き出しにしながら異形の敵と戦っているが、細ヒモ一本でもカバーしてくれるものが有るか無いかで不安感が全く違うようで、敏感な穴の中心部まで外気に晒される感覚に、セーラーブルードは思わずかわいらしい悲鳴をあげてしまう。



ああ…イヤあ…

知らない人達にアナルを見られてる…うひツ!?

見知らぬ人々の前で肛門を完全に露出してしまったブルードは、軽いパニック状態になって場違いな恥じらいの言葉を漏らす。それも次の瞬間に肛門を貫いた触手によって遮られ、情けない悲鳴に変わる。

つい先刻に触手責めを受けたばかりで敏感なままの肛門を再び太い触手に貫かれたブルードは、目を白黒させて痙攣し、乳房を揺らしながら失禁してTバックパンティの股間から黄金水を放つ。

触手に拘束されたまま、股間と乳房を見せつける姿勢で空中に吊されたピキ三美女を好奇の目で眺めていたギャラリ一達は、触手によって美女の肛門が丸出しになったことで目の前の事態の異常性を感じ始めていたが、更に触手の肛門への侵入と失禁というあまりにエロティックな状況に、逃げ出すことも忘れて見入ってしまった。

ふヒイツ♡

ああ…そんな…どんどん入ってくるウツ…  
私のお腹…こんなに膨らんで…

肛門からブルートの内部に入り込んだ触手は腸内を這い進んで十分に奥まで達すると、その先端から大量の分泌物を噴出し始めた。

腸から溢れた分泌物は彼女の胃袋までも満たし、更に圧力を高めてセーラー戦士の腹部を妊婦のように膨満させていく。

普通の人間なら内臓破裂でとうに死んでいる過酷な責めにもセーラー戦士の強靱な肉体は破壊されることなく耐えるが、その精神はやはり人間の女性であり、見事なプロポーションを誇る自分の身体が醜く変形していく有様に戦士としての使命も誇りも忘れて絶望と快樂の悲鳴を上げる。





はひッ…んふうウッ♡…ダ…ダメッ…  
こんなところでお漏らしなんてエッ…♡

ブルートの腹をセーラー戦士の肉体の限界まで膨らませると、触手は無造作に引き抜かれ、ピキミのTバックも本来の位置に戻っていた。

彼女の体内を満たす妖魔の分泌物は、内臓の中で彼女自身の体液と反応しているのか、粘液質の音を立て始める。

それと同時に、ブルートは強烈な便意に襲われ、開脚ポーズのまま、この日だけで2度も触手による拡張を受けた肛門の締まりを保つという、困難な努力を強いられる。

それでもブルートは徐々に迫る破局を避けようと、あられもない悲鳴を漏らしながらも必死で括約筋を締め付けるが、その僅かな隙を衝くように、時折Tバックの下の肛門の中心部から黄褐色の粘液が噴き出してしまっていた。



ヒッ..やだ..また触手が...ンぷうッ!?

そんなブルートの努力をあざ笑うように  
また別の触手が彼女の回元に伸ばされ、  
肛門を締める努力のために強く閉じられていた  
ピンク色の唇をこじ開けて咽頭に入り込む。

下の穴の破局を避ける事に集中していたブルートは、  
思わぬ上からの侵入者に驚いて乳房を揺らしながら、  
それでも必死で唇を窄め、舌を使って触手を  
押し出そうとするが、それはあたかも  
回を犯す触手に奉仕するための  
フェラチオのように見えた。





むぶッ!! ンごおオッ!?

(ダメ…出るッ…)

私…触手で口の奥まで犯されながら  
太いウンチ漏らしてるッ…)

唇と舌を使った迎撃も虚しく、口から侵入した触手はそのまま食道に入り込んでしまう。

既にギリギリの状態、辛うじて締めを保っていたブルートの肛門は、上の穴から内臓を犯されたショックで最終的な限界を迎えた。

排泄孔の中心部がフジツボのように膨らみ、粘液に濡れた下ハックの細ヒモがずれて肛門が完全に露視になる。

次の瞬間、膨らみの頂点が丸く開き、それが一気に拡がって、粘液に包まれてヌヌと光る黄褐色の固形便が排出された。

口からの触手に体内を犯されながら、人前で、しかもセーラー戦士の姿での脱糞という、つい1時間前までは想像もしなかった惨めな痴態を晒すブルート。

脱糞のショックと排泄の快感により絶頂に達してしまった彼女は、左右の乳首からスーツの薄布越しに母乳までも噴出させ、肛門から長い固形便をぶら下げたまま全身を痙攣させる。

普通なら失禁も避けられなかった筈だが、この時、既に2度の失禁で彼女の膀胱は空になっていた。

空中に吊された半裸の美女が見せる脱糞ショーに、周囲のギャラリーからは声にならないどよめきが起こる。

ンおツ♡…むぶらウツ♡

(スゴおおおツ…)

お腹の中・触手で一杯になって…  
もうどこまでが私なのか判らない…  
怖いのに…気持ちイイ♡…)

ブルートの胃と腸に詰め込まれていた  
妖魔の分泌物は糞便として続々と排泄されたが、  
彼女の腹部は回から入り込んでくる触手によって  
醜く膨れ上がったままだった。

数分にわたる連続脱糞の末に、排泄物に代わって  
ブルートの消化管を完全に満たした触手は、  
終点である肛門から姿を現す。

セーラー戦士の高純度エネルギーを内臓の粘膜から  
存分に吸収したそれは、ひととき鮮やかな肉色の  
表面を粘液でヌルつかせながら、窮屈な腸内から  
解放されたことを悦ぶようにピチピチと蠢いた。

妖魔の粘液や触手に体内をくまなく蹂躪された  
ブルートは既に正常な思考力を無くしており、  
苦痛や羞恥さえも快楽として受け入れる  
肉人形と化していた。

喜びの表情を浮かべながら、体内を貫通する触手に  
フェラチオとアナルで奉仕する姿に、時さえも操る  
凛々しく美しい戦士の面影は欠片も残っていない。

セーラーブルートは、その後駆けつけた  
ウラヌスとネプチューンに救い出されるまで、  
ピーチのただ中で、触手と一体になって  
淫靡に蠢く生きたオブジェと化したまま、  
無数のギャラリーの目に晒され続けた…

あ〜…

男の人達、みんな見てる…  
みちるに選んで貰ったビキニ、  
ちょっと大胆すぎたかしら…？

学校のプールならこのくらい平気だけど、  
ビーチで知らない人達に見られるのは  
さすがに緊張するわね…

はるかともちるに付き合っ、  
今年初めての海にやってきたせつな。  
しかし、早速バカッブルぶりを発揮し始めた  
2人に辟易した彼女は、そそくさとその場を離れて  
ひとりビーチを散歩していた。

この日のために、せつながみちるのアドバイスを受けて  
新調した水着はかなりきわどいビキニで、  
ハイネックのトップの大きく開いた胸元は  
豊かなバストが深い谷間を覗かせ、  
ウルトラローライズのボトムは、ヒップの割れ目はおろか  
ヘアを綺麗に処理された恥丘の膨らみさえも  
惜しげ無く露わにしている。

最小限の部位だけをカバーされた  
褐色のグラマラスボディは否応なしに  
ビーチの男性達の注目を集め、  
全身に絶え間なく絡みついてビキニの内側まで  
犯そうとするかのような無数の視線に反応した  
せつなは、本人の意思に反して  
熱く火照りはじめてしまう。



ああ…ヤダ…  
さっきの場所、まだそのままになってる…

セーラー戦士の姿だったから  
私のだとは気づかない筈だけど、  
やっぱり自分の漏らしたモノが  
人に見られるのは恥ずかしいッ…

変身を解除し、本来のピキニ姿に戻ったせつなは、  
シャワーを浴びて全身を覆っていた粘液を洗い落とすと、  
再びビーチに出て先程の悪夢を振り払うように  
肌を撫でる海風を満喫しながら歩き始める。

しかし、先程の戦いの現場に差しかかった時、  
せつなは自分が漏らした糞尿が、そのまま  
放置されているのを見てしまう。

ビーチを歩く人々は堆積した汚物に  
眉をひそめながらも、横目で見ながら  
遠巻きに避けるだけで、自ら手を汚して  
片づけようとはしない。

自分の排泄物を人目にさらすという  
今までに経験したことのない羞恥プレイに、  
セーラー戦士の姿で触手に犯されながら  
肛門を全開にして脱糞する快感が甦り、  
せつなは悩ましい表情を浮かべて  
ひとり身体を疼かせるのだった…

END



うふ☆  
お姉さんを探まえられるかな？

ビーチで男達の性的な視線に晒されて火照った  
身体を冷まそうとするように、せつなは波打ち際で  
足元を水に濡らしながら、近くで遊んでいる  
達に声を掛けた。

もとより 好きなら、十番小で養護教員として働く彼女は  
すぐに 達に溶け込み、彼等の鬼ごっこに加わって戯れる。

魅力的な獲物となった彼女を集中的に追いかけはじめた  
鬼役の を挑発するように、Tバックが食い込み  
肛門の皺まで露出した無防備なヒップをプリプリと振りながら、  
優雅に投げキスを飛ばすせつな。  
その動作の反動で、ピキニのブラに窮屈そうに閉じこめられた  
二つの大きな乳房がブルンツと揺れる。



残念でした♪そう簡単には捕まらないわよ？  
ほ～ら、鬼さんごち…ほオオツ！？

夢中になって追いかける鬼役の男の子をからかうように、  
タッチしようとする手をギリギリの間合いで躲しながら  
更に挑発的に声をかけるせつな。

しかしその時、鬼役の子に気を取られていた  
彼女の死角から近づいた別の 指が、  
ヒップの谷間に食い込むビキニのTバックごと、  
半ば露出した肛門に突き入れられた。

指先だけとは言え、何の準備もなく排泄孔に指をねじ込まれ、  
せつなは何が起きたのかも判らないまま  
悲鳴とも嬌声ともつかない奇妙な声を上げながら  
全身を硬直させる。



あふウシツ…  
こ…こら…キミ…こんなコトしちゃダメツ…  
女のこのカラダはとっても敏感なのよ…?

突然のアナル挿入に頬を紅潮させて涙を浮かべながらも、  
養護教員として日頃から子供達の相手をしており  
いわゆる「指浣腸」のイタズラも何度か受けたことのあるせつなは、  
自分のアナルに指を入れた男の子を優しくたしなめる。

唇からピンク色の舌を覗かせ甘い吐息を漏らしながら、  
Tバックからは半ばはみ出した肛門を指で押さえるエロティックな姿態に、  
達は男女を問わず息を飲んで見とれていた。





みんな、そろそろお疲れかしらね？  
ちょっと休憩を…うぎイイツ！？

思わぬイタズラによる中断を挟んで再開された鬼ごっこも  
さすがに 達に疲れが見え始め、休憩を提案しようとしたせつな。  
しかし、その言葉は途中で淫靡な奇声に変わる。

先程彼女に「指浣腸」を見舞った 達が、再び彼女の肛門に  
指を突き入れたのだ。

前回と違って、その指は第2関節まで入り込んでおり、  
先程の挿入の感覚が残る肛門を強引に拡張されたせつなは、  
イタズラの指浣腸比較にならないアナルセックス同然の感覚に、  
開いた口から尖った舌を突き出し、半ば白目を剥いて  
ヒップを突き出したままのポーズで全身を激しく痙攣させる。



おほッ♡…ダメェ…コレ…効くウツ♡

ちよっ…キミッ…奥まで入ってッ…

あぁ…指…動かさないで…

そんなにされたら…お姉さん狂っちゃウツ…♡

せつなの豊満なヒップの中心部に差し込まれた指は、直腸の内壁をなぞるようにグリグリと動き、それに反応して褐色のボディがビクビクと震え、大きく張り出した乳房を揺らす。

直腸の奥まで犯される本格的なアナル責めにせつなの余裕は完全に消し飛び、優しく美しい養護教員は今や 〇〇 の指一本を相手に本気のアナルセックスを強いられて淫らな嬌声を上げるメスになり果てていた。

しかし、波打ち際で繰り広げられるこの痴態も10mほど離れたビーチでくつろぐ人々からは女性と 〇〇 の戯れにしか見えず、鬼ごっこをしていた 〇〇 達以外に気づく人もない。



あふウウ♡…ダメエ…またイクウ♡…♡  
ふひッ…プルートプラネットパワー…ンほお♡♡  
メイクアップ♡♡  
(ウノ…コレ…妖魔の触手…！？  
このままじゃ他の 達が危ない…とにかく変身をッ…)

せつなの肛門を犯す は、あられもなく乱れる彼女の痴態に興奮して更に激しく指を動かしながら、あろう事かその姿をグロテスクな妖魔に変化させ始めた。それは、 達に紛れて女性を襲う妖魔の擬態だったのだ。

白目を剥いて絶頂を繰り返し、半ば失神しながらなおも肛門を締め上げて壮絶なアナルセックスを繰り返していたせつなは、腸内を蹂躪するモノが の指から異形の触手に変化した事による本能的な恐怖に失禁し、Tバックビキニの股間を濡らして黄金色の液体を迸らせる。

と同時に、半ば無意識の内に彼女の戦士としての本能が変身を決意し、バストの谷間から変身ロッドを取り出すと、肛門で妖魔と繋がったまま、喘ぎ声と共に変身ワードを叫んだ。

